

イノベーション・ジャパン2013 東京ビッグサイトで開催 名工大より9名の先生方の研究シーズ展示

わが国の産学官連携を強力に推進するための国内最大規模の産学マッチングの場といわれるイノベーション・ジャパン2013が、8月29日・30日の二日間に亘り、東京ビッグサイトに開催された。

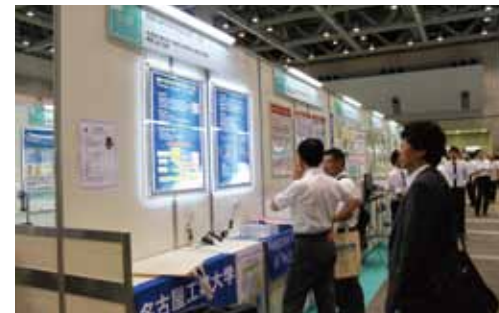
科学技術振興機構(JST)と新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の主催によるこのイベントは、大学等の研究成果を幅広く社会に公開することで、技術移転および産学連携への端緒となることを大きな目的としている。本学は、9名の先生方の研究成果を発表展示した。

発表者一覧

- ・中村 修一 准教授：光学活性アミノホスホン酸化合物の効率的な不斉合成法
- ・永田 和寿 准教授：床版蓄熱と断熱塗料を利用した鋼桁の結露抑制技術の開発
- ・加藤 昇平 准教授：誰でも簡単に使える認知症スクリーニング技術
- ・水野 稔久 助教：新規膜蛋白質可溶化試薬の開発
- ・佐藤 尚 准教授：新規遠心铸造にて製造した傾斜機能砥石および自己潤滑材料
- ・福田功一郎 教授：低温作動型SOFCに最適な結晶配向電解質
- ・安在 大祐 助教：信号到来時間・受信電力併用方式によるカプセル内視鏡位置取得システム
- ・山村 初雄 教授：細菌の膜を侵す新型抗菌オリゴ糖
- ・猪股 智彦 助教：微生物の固定・検出・解析が可能なマルチ分析技術の開発



佐藤尚准教授のプレゼンテーション



バックライトパネルを使用した展示ブース

本年度新たに「夏期レクチャーコース」を開催 材料設計計算の基礎と応用 ～解説と演習によるフェーズフィールド法入門～

当研究協力会は、「夏期レクチャーコース」として、企業人を対象とした講座を8月22日・29日の両日開催した。

講師の小山敏幸名工大工学部教授による材料設計計算工学の基礎と応用を学ぶこのコースは、特に最近多くの材料科学・工学分野にて活用されはじめている総合的な材料解析法である「フェーズフィールド法」に焦点を当てて解説。

演習を含めた講義終了後も、ご参加者からの個別指導相談の希望も多く、また他のテーマによる夏期コース開催の要望も提案され、モノづくりに重要な、これからの材料工学の実践につながる事業として開催することができた。

東京、大阪方面の遠隔地からのご参加を含む、参加者31名。



講義をする小山敏幸教授

今後の行事予定

先端技術企業視察会
10月23日(水)

名工大テクノフェア
「あすの技術は名工大から」
11月15日(金)

研究協力会助成研究会
随時

研究協力会事務局便り

名工大産学官連携センターが中核となって推進している「名工大テクノフェア」が、今年も間もなく開かれる。今回は、特に案内リーフレットの作成段階から気合が入っており、若き女性のアンドロイドを登場させ、学生のデザイン協力による未来をイメージしたような構成のもとに、また、名工大の研究シーズが溢れ出るようなロゴマークも新しく加わって、ユニークさを強調した仕立てになっている。さらに、本年度は「工大祭」と同時開催であり、家族揃ってのご来場をお待ちするものである。産学官連携を支援する研究協力会としても、この一大イベントに対してPRを含めて大いに協力していきたい。

〈入会申込お問合せ先〉

名古屋工業大学研究協力会 事務局

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学 産学官連携センター内
Tel, Fax: 052-735-5538
E-mail: kyoryoku-pal@adm.nitech.ac.jp
*研究協力会HPもご覧ください。

<http://partner.ccr.nitech.ac.jp/>
(行事案内・入会案内・事業報告は、このサイトで見る事ができます。)
*ご担当者や連絡先(Tel, Fax, E-mail)が変更になった場合は、ご一報ください。

平成25年10月16日発行

「窒化物半導体マルチビジネス創生センター」が完成!

名古屋工業大学大学院教授 江川孝志

平成25年9月20日に、名古屋工業大学において「窒化物半導体マルチビジネス創生センター」(以下、新センター)の開所記念式典を執り行いました。新センターは、名古屋工業大学が有する「Si基板上にGaN結晶を成長させる技術(GaN/Si)」を核に、設備メーカー、材料メーカー、デバイスメーカー等が一つ屋根の下に集まって、新しい半導体パワーデバイスの実用化・事業化に向けた研究開発を行う拠点であり、開所記念式典は、経済産業省、文部科学省、トヨタ自動車株式会社及び住友化学株式会社等から多数の来賓並びに関係者を迎え、盛大に実施されました。なお、新センターは、経済産業省が実施するイノベーション拠点立地支援事業(「技術の橋渡し拠点」整備事業)において採択されたものです。

＜新センターの概要＞

名称：「窒化物半導体マルチビジネス創生センター」

総事業費：22.7億円

建屋：鉄骨造・地上3階建て、総フロア面積2,356㎡、クリーンルーム面積374㎡(ISO 6&7)、測定実験室面積317㎡、企業サテライトオフィス8室(各21㎡)、他

設備：MOCVD装置、電子ビーム描画装置、プラズマエッチング装置、超高周波・高耐圧デバイス測定システム、SPMシステム、スパッタ装置、他



地上3階建ての窒化物半導体マルチビジネス創生センター外観

＜新センターのミッション＞

- ・窒化物半導体パワーデバイスの性能の革新的向上と製品化のための原動力となる。
- ・窒化物半導体を核に、新しい技術や価値を創造する工学のイノベーションハブの役割を担う。
- ・実用化研究を通して、産業界をリードする社会人を育成する。
- ・海外の研究機関・企業との交流を強力に推進し、グローバル工学イノベーションハブを目指す。



名古屋工業大学
大学院教授
江川 孝志



開所記念式典のテープカット

新センターにおいては、名古屋工業大学と関連技術分野の川上から川下までの10社以上の企業が一つ屋根の下に集結し、基礎から応用、製品試作・評価まで一貫通貫の研究開発をコンカレントに行います。この研究開発の成果は、窒化物半導体パワーデバイスとして、エアコン、グリーンIT、スマートグリッド、電気自動車等幅広い分野への適用が期待されます。

新センターに関しましては、学内外の方々にご支援・ご指導を頂きました。この場をお借りして感謝申し上げます。

目次：「窒化物半導体マルチビジネス創生センター」が完成！	1
第27回技術懇話会開催報告	2
中京圏における国立大学等と地域企業に関する調査報告(文部科学省調査 一部紹介)	3
イノベーション・ジャパン2013出展報告 他	4